

平成 25 年度 公 2 事業報告書(川崎市国際交流センター事業)

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

I 情報収集・提供事業

■ 1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。また、新たに利用者用パソコンを 2 台設置し、情報提供の幅を広げた。

- ①利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）
- ②利用対象 小学校高学年以上
- ③複 写 1 枚 10 円（資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。）
- ④閲 覧 等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- ⑤利用者数 13,493 人
- ⑥閲覧件数 図書等 (2,106 件) ビデオ (291 件) CD (46 件) DVD (7 件) パソコン(157 件)
- ⑦閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 日本関連図書 3. 語学学習図書
4. 児童向け図書 5. 世界関連図書
- ⑧蔵書数

書 籍	14,932 冊 和図書 12,350 冊 外国語図書 2,582 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	18 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 3 紙 日本語 11 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙
情 報 誌	45 誌 和雑誌 31 誌 外国語雑誌 14 誌 在日外国人向け生活情報誌 7 誌
ビデオテープ	482 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

(平成 26 年 3 月末現在)

(2) ロビー、ギャラリー等の運営

- ①国際交流関係機関や民間交流団体などの活動を紹介するとともに、国際交流・国際理解推進のための展示や場所の提供を行った。
- ②関係機関・団体等の絵画や作文等の展示、各種パンフレットやチラシ等の収集・配架により、文化に触れる機会を提供するとともに国際交流等に関わる多様な情報を市民に提供した。
(ジュニア文化賞等)
- ③外国人に向け、多言語による情報を収集・配布した。
- ④掲示パネルにより、ポスター等の各種国際交流事業を紹介した。
- ⑤メッセージボードを設置し、市民や外国人との情報交換を図った。
- ⑥市民が無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。
(利用時間) 午前9時30分～午後8時00分(休館日を除く)
(利用内容) インターネットの閲覧のみ。
(利用料) 無料。1回あたり30分まで
(利用件数) 1,346件
- ⑦ギャラリーの姉妹・友好都市(港)の展示パネルを刷新し、情報発信性を高めた。
- ⑧談話ロビーへ映像機器を設置し、国際理解映像などの情報を提供した。

※情報ロビーでの催事・展示

	展 示 内 容	主 催 団 体 等	展 示 期 間
1	陸前高田に寄せて・・・ やなせたかしのメルヘン絵本「松の木のうち」読み聞かせ	日本大震災復興支援絵本 読み聞かせ会	4/14・5/25 6/15・7/28 8/18・9/29 11/30・1/26 2/23・3/16
2	和太鼓祭音ロシア公演 写真展	和太鼓祭音	6/16～6/30
3	第6回川崎・富川 国際子ども友好展	NPO法人 川崎・富川―日韓美術交流会	8/10～8/18
4	第17回カナガワビエンナーレ 国際児童画展	(公財)川崎市国際交流協会	8/28～9/3
5	川崎市の友好港ベトナム・ダナン港 写真展	(公財)川崎市国際交流協会	11/5～11/16
6	めぐみちゃんと家族のメッセージ ～横田滋写真展	市民・こども局 人権・男女共同 参画室	11/19～11/21
7	川崎ジュニア文化賞 入賞作品展示	川崎信用金庫	11/26～12/9

8	かわさき国際交流民間団体協議会 「ミニ交流会」 魂刀流志伎会・(公財)ラボ国際交流センター 神奈川支部たまがわ地区	かわさき国際交流民間団体協議会	12/7
9	外国人が見たカワサキフォトコンテスト	(公財)川崎市国際交流協会	12/13 ~1/21
10	～世界自転車冒険の旅～ 写真展	(主催)かわさき国際交流民間団体協議会 (共催)(公財)川崎市国際交流協会	3/8~3/16
11	仲山久子陶芸作品展	仲山久子陶芸	3/21~3/22

II 広報出版事業

■ 2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行

① 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発行) 年間10回(月刊、7・8月号、2・3月号は合併号)

(部数) 5,000部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちょこっとだより、施設点検日・休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

② かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年4回(季刊)

(部数) 6,000部/回

(編集等) 協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営

国際交流協会のホームページにより、市民及び外国人に国際交流に関する多様な情報を提供した。

(ホームページ) URL <http://www.kian.or.jp/>

(提供内容)

○川崎市国際交流協会について

- ・国際交流協会案内
- ・協会のイベント及び講座
- ・協会が後援するイベント
- ・ニューズレター
- ・図書・資料室
- ・国際交流事業への助成制度

○外国人への情報提供について

- ・日本語講座
- ・外国人市民相談コーナー
- ・生活情報
- ・外国人留学生への助成制度
- ・7言語での川崎市のお知らせ

○小学生への情報提供について

- ・川崎市の外国人に関するデータ
- ・姉妹友好都市について

○その他

- ・ボランティア活動
- ・国際交流民間団体協議会
- ・身近な国際協力
- ・Facebook
- ・ブログ

(アクセス件数) 95,321件 (261アクセス/日)

(更新数) 1,694回

(3) 各種メディアの活用

① FM K-cityの活用

毎月、生放送番組に出演する等、センター事業の広報を行った。

Ⅲ 講座・研修事業

■ 3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(講座)

○午前コース (9:50~11:50) 年間3期、週2回 (火、金)、保育を実施

1学期: 4/23~7/12 (22回)、2学期: 9/24~12/6 (22回)、3学期: 1/14~3/11 (17回)

○夜間コース (18:30~20:30) 年間3期、週1回 (水)

1学期: 4/17~7/10 (12回)、2学期: 9/4~12/11 (15回)、3学期: 1/15~3/12 (9回)

(講師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(場所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者) 延べ 322名 (40の国・地域)

(2) 特別講座

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

① 市内見学 5月24日 (金)

受講生 29名、子ども 7名、日本語ボランティア 9名、保育ボランティア 3名、職員 1名
計 49名 (午前コース)

- ②茶道体験 7月3日(水)
学習者 29名 日本語ボランティア 10名 講師 1名、補助 4名 計 44名(夜間コース)
- ③七夕祭り 7月5日(金)
受講生 40名、日本語ボランティア 11名 計 51名(午前コース)
- ④梨もぎ体験 9月7日(土)
受講生と家族 10名、日本語ボランティア 4名、職員 1名 計 15名
- ⑤御神輿体験 10月6日(日)
受講生他 12名 日本語ボランティア 3名 カメラマン 1名 計 16名
- ⑥茶道体験 11月22日(金)
受講生 31名 日本語ボランティア 11名 計 42名(午前コース)
- ⑦防災訓練 2月21日(金)
受講生 41名、日本語ボランティア 10名、保育ボランティア 3名 合計 54名
- ⑧昔遊び体験 3月12日(水)
受講生 21名、日本語ボランティア 10名 計 31名

(3) 研修会

①日本語講座ボランティア登録事前研修

日本語講座ボランティアへの登録を目的として事前研修を開催した。

- (期 間) 11月2日(土)～26年3月1日(土)
- (回 数) 12回
- (講 師) 神田外語大学 日本語講師
- (場 所) 川崎市国際交流センター
- (参加者) 8名

②日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

- (日 時) 平成 25 年 11 月 9 日 (土) 13:30～15:30
- (講 師) 中級テキストの著者
- (場 所) 川崎市国際交流センター
- (内 容) 一初級の教え方ー「受け身」を中心に
- (参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 30名

■ 4 国際理解講座事業

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語(英語、中国語)のほか文化を通じての国際理解講座を開催した。

(1) 日本語による国際理解講座

日本スペイン交流 400 周年(慶長遣欧使節団派遣 400 周年)、日本ベトナム友好年(日本ベトナム外交関係樹立 40 周年)であったため、スペインとベトナムにスポットをあて、文化や社会について写真や映像を交えながら、国際理解を深めた。

(期間) 平成 25 年 10 月 26 日 (土)、11 月 16 日 (土)

(時間) 13:00~14:30

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10/26(土)	「スペインの多文化多言語社会」	川崎市国際交流協会相談員	30
2	11/16(土)	「ベトナム人の性格と文化」	川崎市国際交流協会登録 ボランティア	41

(2) 外国語による国際理解講座

①英語による国際理解講座（前期）

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(期間) 平成 25 年 6 月 8 日 (土)、6 月 22 日 (土)、7 月 13 日 (土)

(時間) 10:30~12:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6/8(土)	“The value of work-comparison between Australia and Japan” 「労働に対する価値観：オーストラリアと日本の比較」	川崎市国際交流員	39
2	6/22(土)	“Spain-One Country, Four Languages” 「スペインの多文化多言語社会」	川崎市国際交流協会 相談員	31
3	7/13(土)	“Learning from Mice” 「ねずみから学ぶこと」	協会国際理解教育支 援講師	25

②英語による国際理解講座（後期）

(期間) 平成 26 年 2 月 1 日 (土)、2 月 22 日 (土)、3 月 8 日 (土)

(時間) 14:00~16:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	2/1(土)	“Contemporary Mongolia: The People and the Lifestyle” 「現在のモンゴル：人や生活スタイルから」	協会国際理解教育 支援講師	29
2	2/22(土)	“A Lens, A Salad Bowl, The Power of Language” 「メガネとサラダボウルと言葉： カナダという国を通して考えてみる」	川崎市国際交流員	33
3	3/8(土)	“The Beach Boy” 「ビーチボーイ」	玉川大学講師	30

③中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。中国の伝統文化や現代の社会問題等について、講義と文化の体験や交流を行った。

(期間) 平成25年9月28日(土)、10月5日(土)、10月19日(土)

(時間) 14:00~16:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	9/28(土)	「中国建築と現代の住宅事情」	小学校英語ボランティア	24
2	10/5(土)	「中国舞踊について」	大学院留学生	25
3	10/19(土)	「生活で使う対句」	語学学校校長	25

■ 5 国際文化理解講座事業

(1) 国際文化理解講座

日本スペイン交流400周年(慶長遣欧使節団派遣400周年)を記念して、スペインを紹介する講座を行い、市民レベルでの友好親善と相互理解を深めた。

(期 間) 平成26年1月24日(金)、2月14日(金)、2月28日(金)

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(時 間) 10:00~12:00

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	1/24(金)	スペイン文化の講義と踊り	川崎市国際交流協会相談員 フラメンコ舞踊手・歌手	52
2	2/14(金)	フラメンコの歌と踊り	フラメンコ舞踊手・歌手	50
3	2/28(金)	スペイン文化の講義とミニ発表会	川崎市国際交流協会相談員 フラメンコ舞踊手・歌手	48

IV 国際交流促進事業

■ 6 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチ大会

予定していた2月15日は、大雪等の影響により中止となったが、3月8日に改めて発表の場を設けた。交流会では、出場者と聴衆、関係者との交流を深めることができた。

- (期 日) 平成 26 年 3 月 8 日 (土) 14:00~15:30
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール
- (内 容) スピーチ大会、交流会
- (主催等) 主催：公益財団法人 川崎市国際交流協会
 協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご
 協力：国際ソロプチミスト川崎
 後援：川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所、
 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
- (対 象) 日本語を母語としない来日 5 年以内の外国人で、市内の大学、専門学校の留学生、
 市民館等の日本語講座の受講生等
- (出場団体等) 9 団体 10 名
- | | | |
|------|--------------------|---------------------------|
| ロシア | 川崎市国際交流協会日本語講座 | 「ロシアのお祭り “マスレニツァ”」 |
| 中国 | 早稲田 E D U 日本語学校横浜校 | 「私の夢」 |
| 中国 | 興和日本語学院 | 「あなたのストレス解消法は？」 |
| ベトナム | 株式会社リード技研 | 「私のゆめ」 |
| 中国 | 米山ファッションビジネス専門学校 | 「私の両親」 |
| 中国 | 専修大学文学部 | 「私の故郷—上海」 |
| 中国 | 外語ビジネス専門学校 | 「目指せ！イクウィメン！」 |
| 台湾 | 中原市民館日本語学級 | 「新しい自分の発見」 |
| 中国 | 日本女子大学人間社会学部 | 「屌丝（ディヤオスー）文化からみる中国社会の現状」 |
| アメリカ | 専修大学インストラクター | 「日米の会社組織の違いと将来」 |
- (聴衆 参加者) 130 名
- (交流会参加者) 80 名

■ 7 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) クロコディロスコンサート

第 19 回目のアメリカ・ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。また、コンサート後、学生との交流会を実施した。

- (期 日) 平成 25 年 6 月 15 日 (土) コンサート：14:00~
 交 流 会：15:30~
- (会 場) 川崎市国際交流センター・ホール他
- (後 援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会
- (内 容) 男声アカペラコンサート
- (参加者) コンサート：180 名
 交 流 会：120 名

(2) 世界の音楽会（魅惑の音楽紀行）

ときめき・世界の音楽シリーズ「歌が紡ぐフラメンコの世界～スペイン・アンダルシア～」

日本スペイン交流 400 周年（慶長遣欧使節団派遣 400 周年）、日本ベトナム友好年（日本ベトナム外交関係樹立 40 周年）それぞれを記念して、代表的な音楽や踊りを紹介し、国際理解促進が図れるようコンサートを開催した。

第 1 回（期 日） 平成 25 年 11 月 16 日（土） 15:00～17:00
（会 場） 川崎市国際交流センター・レセプションルーム
（後 援） 「音楽のまちかわさき」推進協議会
（内 容） ベトナム民族楽器と歌で奏でる風景
（参加者） 140名

第 2 回（期 日） 平成 26 年 1 月 11 日（土） 15:00～17:00
（会 場） 川崎市国際交流センター・ホール
（後 援） 「音楽のまちかわさき」推進協議会
（内 容） 歌が紡ぐフラメンコの世界～スペイン・アンダルシア～
（参加者） 200名

V 外国人相談事業

■ 8 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等への紹介を行った。川崎市国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを毎月 1 回、川崎市国際交流センターで行った。

(1) センター相談事業

川崎市国際交流センター

（相談言語・相談日）

英 語	月・火・水・木・金・土	10:00～12:00、13:00～16:00
中国語	火・水・金	10:00～12:00、13:00～16:00
韓国・朝鮮語	火・木	10:00～12:00、13:00～16:00
ポルトガル語	火・金	10:00～12:00、13:00～16:00
スペイン語	火・水	10:00～12:00、13:00～16:00
タガログ語	火・水	10:00～12:00、13:00～16:00

(2) 区役所相談事業

川崎区役所

（相談言語・相談日）

中国語	第 1・3 火	14:00～16:30
タガログ語	第 1・3 火	9:30～12:00
英 語	第 1・3 木	14:00～16:30

麻生区役所

(相談言語・相談日)

中国語	第1・3火	9:30~12:00
タガログ語	第1・3水	14:00~16:30
英語	第1・3木	9:30~12:00

<相談員>

川崎市国際交流協会相談員(6名)

ボランティア相談員(区役所派遣6名)

<相談件数>

年間相談数	1,732件
川崎市国際交流センター	1,706件
川崎区役所	17件
麻生区役所	9件

(3) 相談支援

① 専門相談会

(センター内)

○行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部)

○かながわ外国人居住支援ネットワーク運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議
川崎市住宅基本計画改定委員会

○川崎市外国人代表者会議選考委員会

○川崎市DV被害者相談連絡会・川崎市女性相談員連絡会

○中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会

○9都県市相談担当者連絡会議

② 相談員研修

国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングや研修を毎月第4火曜日に、川崎市国際交流センターで行った。

さらに、川崎市国際交流センターにおいて研修を実施したり外部機関での研修に相談員を派遣したりする中で、新しい情報収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

<研修会等への派遣>

○災害時における外国人への支援セミナー

○MIC かながわ医療通訳フォーラム 2013

○国際移住機関ワークショップ

○9都県市外国人相談企画研究会

- 外国籍県民相談員研修会
「外国人の暮らしについて～経済的に困っている相談者を支える」
- 外国籍県民相談員研修会「労働問題について」
- 外国籍県民相談員研修会「こころの健康に配慮した支援」
- クレア研修会 「多文化共生の地域づくりの取組事例」
- 神奈川県外国人居住支援NW運営協議会
- 女性相談員連絡調整会議
- 麻生市民館 ボランティア入門研修会
- 多摩市民館 ボランティア入門研修会
- 中原市民館 ボランティア入門研修会
- 宮前市民館 ボランティア入門研修会

■※施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営（JV）

①統括業務

施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

②施設利用受付及び案内業務

ア 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

イ 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

③施設利用促進業務

ア ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

イ 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

ウ 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

エ 川崎市国際交流センター活用推進委員会の開催（2回）

（期日） 平成 25 年 10 月 31 日（木）14:00～

（内容） 茶室、料理室の稼働率向上について
施設整備（トイレ、床カーペット、公衆電話）の報告
利用者サービスの報告
利用者要望の取り組みについて

（期日） 平成 26 年 3 月 26 日（水）14:00～

（内容） 川崎市国際交流センターの利用状況について
実施事業について

施設活用について 情報ロビーの利用状況
施設改善について
防災関連について
広報活動について

オ 外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

(期日) 平成26年2月21日(金) 10:30~12:00

(内容) 消防訓練

中原消防署による火災訓練

防災用品の展示

災害用アルファ米の試食

災害用伝言ダイヤル171の体験

119通報訓練、AED体験、消火器体験、煙体験、起震車での大地震体験

もしもの時の簡単レシピ紹介

④図書・資料室管理業務

ア 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。

イ 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

ウ 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を毎月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数200部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

エ 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介を行った。

⑤施設・設備の維持管理及び補修業務

ア 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

イ 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

ウ 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

エ 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

⑥舞台及びAV機器等維持管理業務

市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理を行った。

⑦施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

⑧駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、

事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

⑨設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

⑩施設環境衛生管理業務

ア 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

イ 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

ウ 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

エ 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

オ 害虫防除 年12回

カ レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）
（冷却水水質検査 年2回 6月・8月）

⑪施設清掃業務

ア 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

イ 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

ウ フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

⑫植栽維持管理業務

ア 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

イ イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

ウ 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

①施設の改修

- ・茶室パッケージエアコン更新工事
- ・ホール灯具清掃及び管球一斉取換工事
- ・風除室扉ヒンジ交換工事
- ・別棟身障者用トイレフラッシュバルブ交換工事
- ・談話ロビーサッシ漏水修理工事

②施設的环境整備等

- ・ホテル2階3階廊下床カーペット張替
- ・ギャラリー姉妹都市展示パネル更新
- ・トイレ整備（洗浄暖房便座設置）
- ・多目的トイレ引き戸の整備（表示、開閉具合）
- ・レクリエーションルーム卓球台3台更新
- ・館内Wi-Fi環境整備

(3) 市民共同おひさま発電所の見学会

①経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及びap bankからの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものである。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人をはじめ多くの皆さまに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。

②設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(4) 利用実績

①平成25年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	15,297人
5月	22,074人
6月	17,503人
7月	37,423人
8月	14,508人
9月	14,619人
10月	19,387人
11月	19,395人
12月	15,927人
1月	14,315人
2月	14,966人
3月	16,329人
合計	221,815人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

②川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：344日）

施設名	利用コマ数	稼働率%	施設名	利用コマ数	稼働率%
ホール(264)	696	67.5	特別会議室(28)	45	4.4
レセプションルーム	627	60.8	特別応接室(8)	78	7.6
会議室(第1)(36)	501	48.6	料理室(24)	232	22.5
会議室(第2)(24)	725	70.3	交流サロン(30)	858	83.2
会議室(第3)(24)	662	64.2	茶室	280	27.2
会議室(第4)(30)	598	58.0	レクリエーションルーム	972	94.3
会議室(第5)(30)	638	61.9			
会議室(第6)(18)	773	75.0			
会議室(第7和室)(10)	693	67.2			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 稼働率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。